

健康福祉委員会資料

1 所管事務の調査（視察）

（1）緊急消防援助隊活動拠点について

平成29年7月20日

消 防 局



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

緊急消防援助隊活動拠点 新庁舎のご案内



川 崎 市 消 防 局

川崎市消防訓練センター工事概要

■ 案内図



■ 配置図



■ 新庁舎の概要

□ 趣旨	大規模災害時における川崎市民の安全の確保に向け、他都道府県から応援に来る緊急消防援助隊が、人命救助活動等を効果的かつ迅速に行うための活動拠点として、また、応援時の進出拠点として整備された施設です。	
□ 所在地	川崎市宮前区犬蔵1-10-2	
□ 庁舎概要	・敷地面積	14,919.19m ²
	・建物構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 2階建
	・建築面積	1,924.26m ²
	・建築延面積	2,255.55m ²
	・最高の高さ	14.2m
□ 主要室配置	1階	事務室、備蓄倉庫、救護室、更衣室（シャワー室兼用）、多目的トイレ、体育室
	2階	指揮作戦室（研修室）、作戦調整室（研修室）、会議室、通信室、女子トイレ、女子更衣室（シャワー室兼用）
□ 主要設備配置	屋外	自家用給油取扱所（ガソリン、軽油、灯油）、空気充填所、災害用マンホールトイレ、照明設備、自家発電設備、消火栓・防火水槽
□ 竣工日	平成28年2月24日	
□ 運用開始	平成28年4月1日	

■ 新庁舎の活動拠点機能

活動拠点機能	施設・設備名	備考	場所
災害対策本部 又はその補完機能	指揮作戦室	大画面モニター、操作卓、テレビ、FAX、パソコン、外線電話など	2階
	作戦調整室	スクリーンなど	2階
	通信室	ヘリコプターテレビ受信装置、消防救急デジタル無線機	2階
ベースキャンプ機能	体育室		1階
	グラウンド		屋外
	シャワー室	更衣室、シャワー室	1・2階
応急救護機能	救護室	ベッド	1階
	備蓄倉庫	応急救護用救急消耗品	1階
備蓄物資供給機能	自家用給油取扱所	ガソリン 10KL、軽油 20KL、灯油 2KL	屋外
	空気充填所	空気ボンベの充填	屋外
	備蓄倉庫	警防資器材	1階
その他	屋外トイレ	1か所	屋外
	災害用マンホールトイレ	5か所	屋外
	照明設備	3か所	屋外
	自家発電設備	停電時における非常電源	屋外
	消火栓・防火水槽	消火栓3か所、防火水槽1か所	屋外

緊急消防援助隊活動拠点となる機能は、総務省消防庁で検討した「緊急消防援助隊活動拠点施設に関する調査報告書」に準じて整備されています。

1階の施設の案内



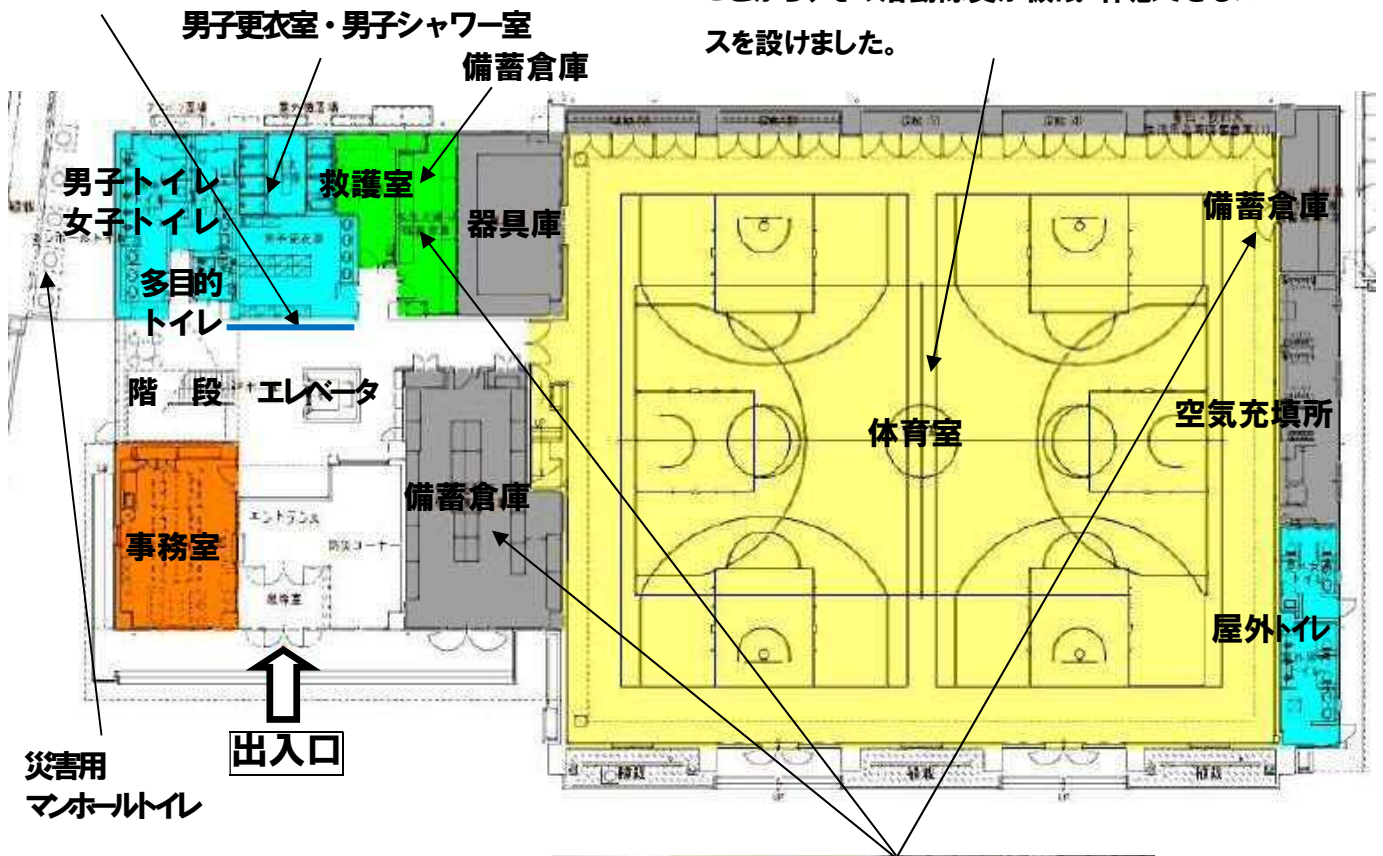
市域案内パネル

迅速に川崎市全域を緊急消防援助隊に把握してもらえよう、マグネットタイプの市域案内パネルを設けました。



体育室

緊急消防援助隊は約300人規模で応援に来ることから、その活動隊員が仮眠・休憩できるスペースを設けました。



備蓄倉庫

緊急消防援助隊の活動に必要な資器材や食料等を保管する場所です。

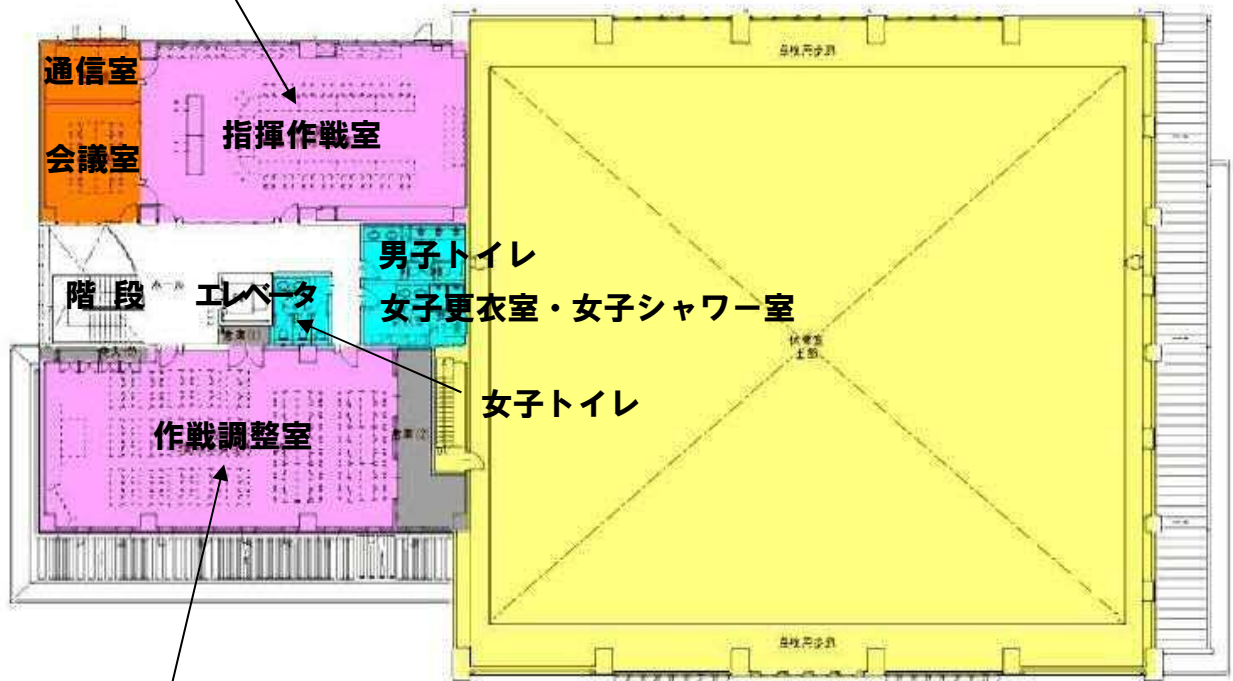


2階の施設の案内



指揮作戦室

緊急消防援助隊として派遣されてきた指揮隊が、通信やヘリコプターからの映像を基に情報収集を行い、消防指揮本部と連携し、活動方針等を決めるための場所です。



作戦調整室

緊急消防援助隊として派遣されてきた部隊が、市内で活動を展開するための調整を行なう場所です。

屋外の付帯施設・設備の案内



災害用マンホールトイレ

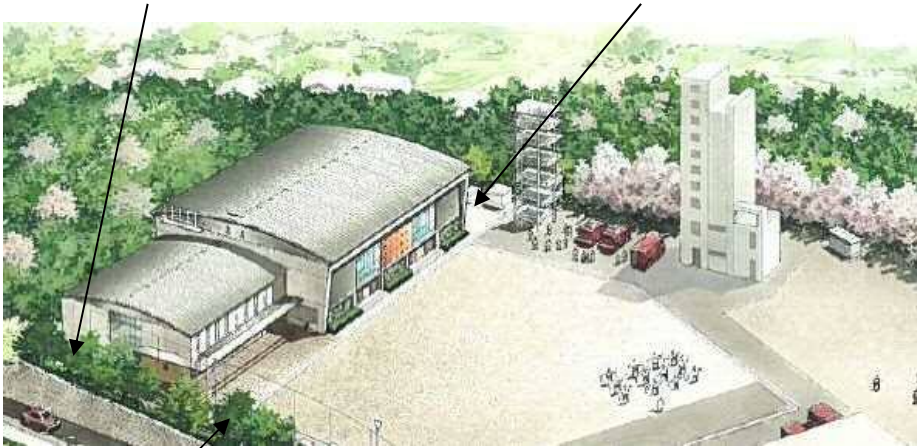
(設置イメージ)

下水道管路の上にマンホールを設け、大規模災害時に限り、簡易トイレを設置します。



空気充填所

空気ポンプを使用後、ポンペ内に空気を充填するための施設です。



自家用給油取扱所

平常時は、消防訓練センターに訓練に来た消防車等へ、大規模災害時には、緊急消防援助隊の応援部隊に対して燃料供給するための施設となっています。



緊急消防援助隊活動拠点について

1 緊急消防援助隊等の要請規模（集結想定人数）

震度	要請規模	要請隊数(人数)	根拠等
震度5強	1	消火隊 35 隊 (175 人) 救助隊 5 隊 (25 人) 救急隊 26 隊 (78 人)	○神奈川県内消防広域応援実施計画
震度6弱	2	消火隊 35 隊 (175 人) 救助隊 32 隊 (160 人) 救急隊 68 隊 (204 人)	○神奈川県内消防広域応援実施計画 ○緊急消防援助隊基本計画 (第1次応援体制)
震度6強	3	消火隊 182 隊 (910 人) 救助隊 78 隊 (390 人) 救急隊 68 隊 (204 人)	○神奈川県内消防広域応援実施計画 ○緊急消防援助隊基本計画 (第2次応援体制)
震度7	4	消火隊 258 隊 (1290 人) 救助隊 150 隊 (750 人) 救急隊 115 隊 (345 人)	○神奈川県内消防広域応援実施計画 ○緊急消防援助隊基本計画 (特別応援体制)

2 緊急消防援助隊の神奈川県への応援都道府県

○第1次出動都道府県

東京都、千葉県、山梨県、静岡県

○第2次出動都道府県

群馬、埼玉、長野、栃木、茨城、福島、山形、宮城、新潟、岐阜、愛知、滋賀

3 緊急消防援助隊活動拠点施設(川崎市消防訓練センター)

○所在地 宮前区犬蔵 1-10-2 敷地面 15604.19 m²

○施設概要 屋内訓練所(緊急消防援助隊活動拠点)建物面積 2255.55 m²

4 緊急消防援助隊活動拠点に必要なとされる施設等

(1)消防総合訓練センターに宿営する部隊数(受入規模)

県指揮	消火隊	救助隊	救急隊	後方支援隊	小計	運営要員	合計
2隊	32隊	7隊	27隊	14隊	82隊	10班	82隊
8人	128人	35人	81人	28人	280人	24人	304人

※応援部隊である1県隊の部隊数 280人+指揮運営する要員(市職員)24人

(2)受援部隊の活動拠点

部隊到着→消防総合訓練センター → 宿营地 → 各署(方面指揮本部)→災害現場で活動

【集結場所】

【受入拠点】

【活動拠点】

【活動場所】

※割振り指示